

資料	
----	--

奥州市 景気動向調査報告書

実績：令和2年4月～令和2年6月期

見通し：令和2年7月～令和2年9月期

令和2年8月

奥州商工会議所

前沢商工会

調整ページ

奥州市景気動向調査結果（概要版）

〔実績：令和2年4月～令和2年6月期〕
〔見通し：令和2年7月～令和2年9月期〕

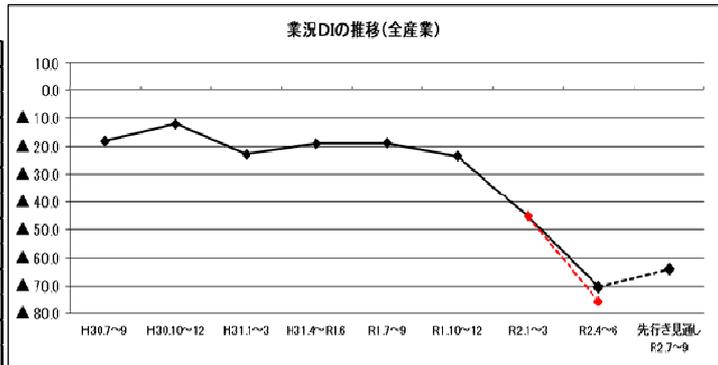
「全業種の業況DI、売上DI共に大幅悪化 先行きについては業況、売上共に若干改善の見通し」

【ポイント】

全産業合計の業況DIは▲70.2と、前回調査(▲45.2)から25.0ポイント悪化した。業種別では全産業がマイナスの数値を示し、小売業▲78.7、卸売業▲82.8、製造業▲76.4、サービス業▲78.1と4業種でマイナス50ポイントを下回り、コロナ禍の影響が経済活動に大きな影を落とす結果となった。
向こう3ヵ月(7月～9月)の先行き見通しは、全体で▲64.0ポイントとマイナスながら前回見通しを上回り、業種別でも全業種が前回見通しを上回った。売上DIについても全体で▲67.7ポイントとマイナスながら前回見通しを若干上回り、採算・資金繰り・仕入単価DIについても数値が改善を示しており、先行きへの期待感が伺われる。

※業種別、設問別のDI値一覧表（実績：上段）（見通し下段）

	業況	売上高	採算	資金繰り	仕入単価	従業員
全産業	▲70.2	▲68.3	▲62.1	▲33.9	▲13.9	7.1
	▲64.0	▲67.7	▲63.6	▲37.6	▲17.6	10.4
小売業	▲78.7	▲80.9	▲70.2	▲44.7	▲6.4	17.8
	▲63.0	▲67.4	▲65.2	▲43.5	▲13.0	17.8
卸売業	▲82.8	▲79.3	▲69.0	▲37.9	▲25.0	6.9
	▲72.4	▲79.3	▲75.9	▲37.9	▲35.7	6.9
製造業	▲76.4	▲69.1	▲72.2	▲35.2	▲5.5	12.7
	▲73.1	▲70.4	▲73.6	▲41.5	▲5.6	11.3
建設業	▲38.9	▲36.4	▲30.9	▲10.9	▲24.5	25.5
	▲40.8	▲48.0	▲40.0	▲17.6	▲30.6	33.3
サービス業	▲78.1	▲79.5	▲70.4	▲41.7	▲13.0	1.4
	▲70.4	▲75.0	▲66.7	▲45.1	▲13.2	6.9



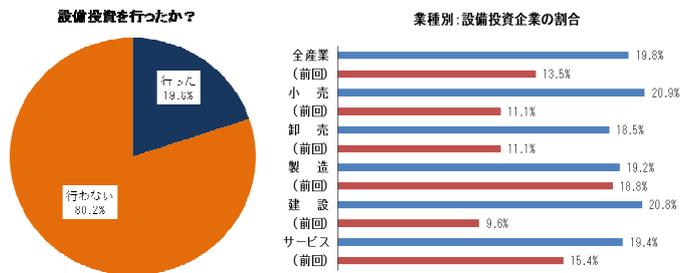
【資金繰りの状況について】

全産業合計の資金繰りDIは▲33.9と、前回調査(▲31.7)から2.2ポイントの悪化。業種別に見ると小売・製造・サービス業で数値が悪化、卸売・建設業で数値が改善した。向こう3ヵ月(7月～9月)の先行き見通しは、▲37.6と前回調査(▲55.5)より改善する見通しとなり、業種別でも全業種改善の見通しを示している。

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲33.9	▲44.7	▲37.9	▲35.2	▲10.9	▲41.7
前回	▲31.7	▲41.7	▲41.4	▲33.3	▲12.7	▲34.8
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲37.6	▲43.5	▲37.9	▲41.5	▲17.6	▲45.1
前回	▲55.5	▲59.6	▲62.1	▲56.0	▲43.4	▲58.8

【設備投資について】

設備投資は全産業で19.8%の事業所で「行った」と回答があり、前回(13.5%)より増加した。業種別では小売業で20.9%、建設業で20.8%、製造業で19.2%が「行った」と回答、前回比で見ると全ての業種で「行った」の回答が増加した。



【新型コロナウイルス感染症に伴う影響と支援策について】

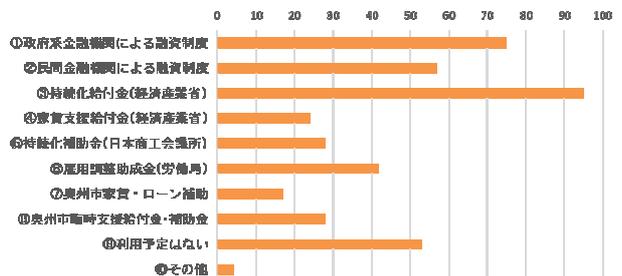
感染拡大の影響で現在困っている事について複数回答で調査を行ったところ、「客足・受注の減少」と回答した件数が一番多く、次いで「イベントや行事の中止・延期」「売上減少による資金繰りの悪化」という結果となった。業種別でもこの傾向は変わらず、客足・受注の減少や行事中止による売上減少が企業経営に大きく響いていることが伺える。

今後利用したいと考えている支援策について複数回答で調査を行ったところ、「持続化給付金（経済産業省）」「政府系金融機関による融資制度」「民間金融機関による融資制度」を希望する回答が上位を占めた。他に「雇用調整助成金（労働局）」「奥州市臨時支援給付金・補助金」の利用希望も多く回答がよせられた。一方で「利用予定は無い」という回答も多くみられた。

【全体】現在困っていることはありますか(複数回答)単位:件



【全体】利用したいと考えている支援策はありますか(複数回答)単位:件



奥州市景気動向調査結果

令和2年7月調査結果

「全産業の業況D I、売上D I共に大幅悪化

先行きについては業況、売上共に若干改善の見通し」

【結果のポイント】

今回調査の全産業合計の業況D Iは▲70.2と、前回調査(▲45.2)から25.0ポイント悪化した。業種別では全産業がマイナスの数値を示し、小売業▲78.7、卸売業▲82.8、製造業▲76.4、サービス業▲78.1と4業種でマイナス50ポイントを下回り、コロナ禍の影響が経済活動に大きな影を落とす結果となった。

全産業の売上・採算・資金繰りD Iは、売上D I ▲68.3と、前回調査(▲49.0)から19.3ポイントの悪化。また、採算D I・資金繰りD Iの数値は悪化した。仕入単価D Iは数値が改善、従業員D Iも数値が改善し人手不足感の緩和を示す結果となった。

向こう3ヵ月(7月～9月)の先行き見通しは、全体で▲64.0ポイントとマイナスながら前回見通しを上回り、業種別でも全業種が前回見通しを上回った。売上D Iについても全体で▲67.7ポイントとマイナスながら前回見通しを若干上回り、採算・資金繰り・仕入単価D Iについても数値が改善を示しており、先行きへの期待感が伺われる。また、従業員D Iは今回10.4ポイントと前回(1.7)よりも人手不足感が強まっている。

新型コロナウイルスの感染症に伴う様々な影響と利用したいと思う支援策の調査で、感染拡大の影響で現在困っている事(複数回答)では、「客足・受注の減少」と回答した件数が一番多く、次いで「イベントや行事の中止・延期」「売上減少による資金繰りの悪化」という結果となった。業種別でもこの傾向は変わらず、客足・受注の減少や行事中止による売上減少が企業経営に大きく響いていることが伺える。

今後利用したいと考えている支援策(複数回答)では、「持続化給付金(経済産業省)」「政府系金融機関による融資制度」「民間金融機関による融資制度」を希望する回答が上位を占め、他に「雇用調整助成金(労働局)」「奥州市臨時支援給付金・補助金」の利用希望も多く回答がよせられた。一方「利用予定は無い」という回答も多く見られた(支援策の煩雑さや周知不足、制度要件の厳しさなどで利用に至らないケースが含まれると見られる)。

自由意見では「影響は長期化を予測している」「更なる景気後退」という回答の一方「コロナを気にしながらも県外への営業活動」という回答もあり、感染防止対策を行いながら営業活動を積極的に実施しているという企業の姿勢が伺える。

当市においては、コロナ感染拡大が本格的になった4月以降初めての景況調査であり、結果は上記の通り大変厳しい企業活動・経営実態を裏付ける結果となった。先行きの期待感を示してはいるものの、マイナス下での見立てであり、コロナ禍の長期化への不安をにじませる結果となった。

調査要領

- 調査期間 令和2年7月1日～22日
- 調査対象 奥州市内の事業所から、業種・規模を勘案して抽出した300事業所に対してファクシミリによるアンケート調査
- 調査項目 令和2年4月～令和2年6月の業況、売上、採算などについての状況及び自社が直面する問題点等

※D I値(景況判断指数)について

D I値は、業況・売上・採算等の各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりの意味する。

$$D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$$

調査票回収状況

回答数 261 回収率 87.0% 小売 48 ・ 卸売 29 ・ 製造 55 ・ 建設 55 ・ サービス 74

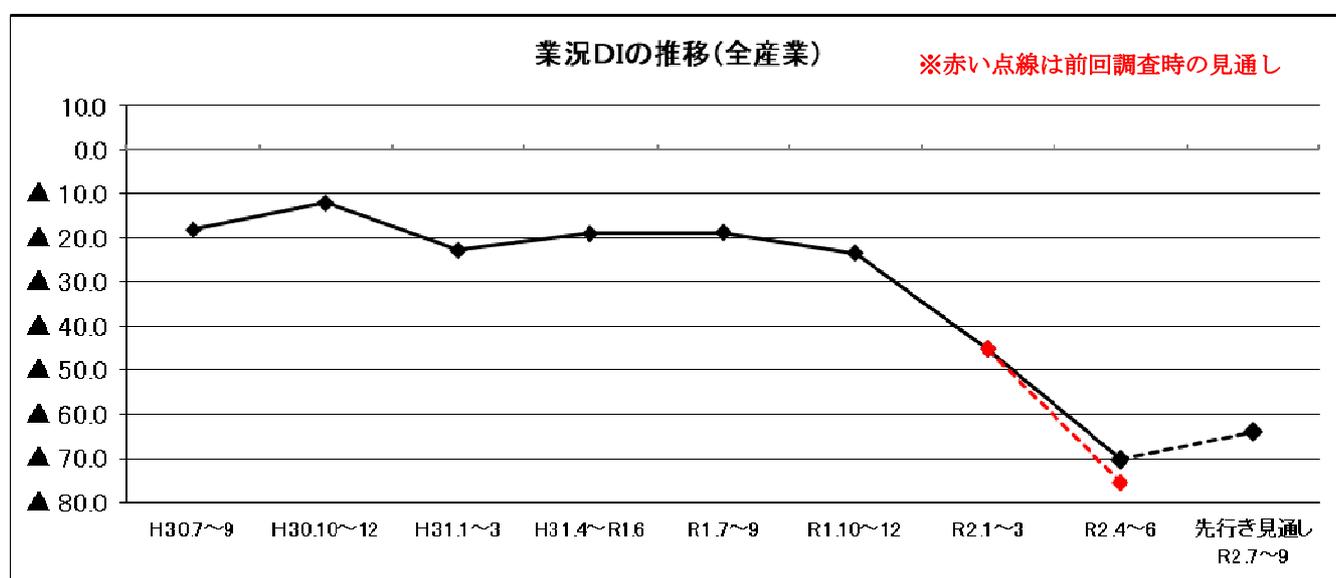
【業況についての判断】

○全産業合計の業況DIは▲70.2と、前回調査(▲45.2)から25.0ポイント悪化した。業種別では全産業がマイナスの数値を示し、小売業▲78.7、卸売業▲82.8、製造業▲76.4、サービス業▲78.1と4業種でマイナス50ポイントを下回る大幅悪化を示した。

向こう3ヵ月(7月~9月)の先行き見通しは、全体で▲64.0ポイントとマイナスながら前回見通しを上回り、業種別でも全業種が前回見通しを上回った。

○業況DI(前年同期比)の推移 【全産業】

H30.7~9	H30.10~12	H31.1~3	H31.4~R1.6	R1.7~9	R1.10~12	R2.1~3	R2.4~6	先行き見通し R2.7~9
▲18.0	▲11.9	▲22.7	▲18.9	▲18.8	▲23.4	▲45.2	▲70.2	▲64.0



○業況DI(業種別)

実績	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	👉 ▲78.7	👉 ▲82.8	👇 ▲76.4	👉 ▲38.9	👉 ▲78.1
前回	▲60.4	▲60.7	▲44.2	▲14.5	▲53.6

見通し	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	👉 ▲63.0	👉 ▲72.4	👉 ▲73.1	👉 ▲40.8	👉 ▲70.4
前回	▲87.2	▲85.7	▲78.0	▲62.3	▲71.6

前回調査との対比

26.0以上 ↑	25.9~5.1 ↗	5.0~▲5.0 →	▲5.1~▲25.9 ↘	▲26.0以下 ↓
-------------	---------------	---------------	-----------------	--------------

※以降の表も同様

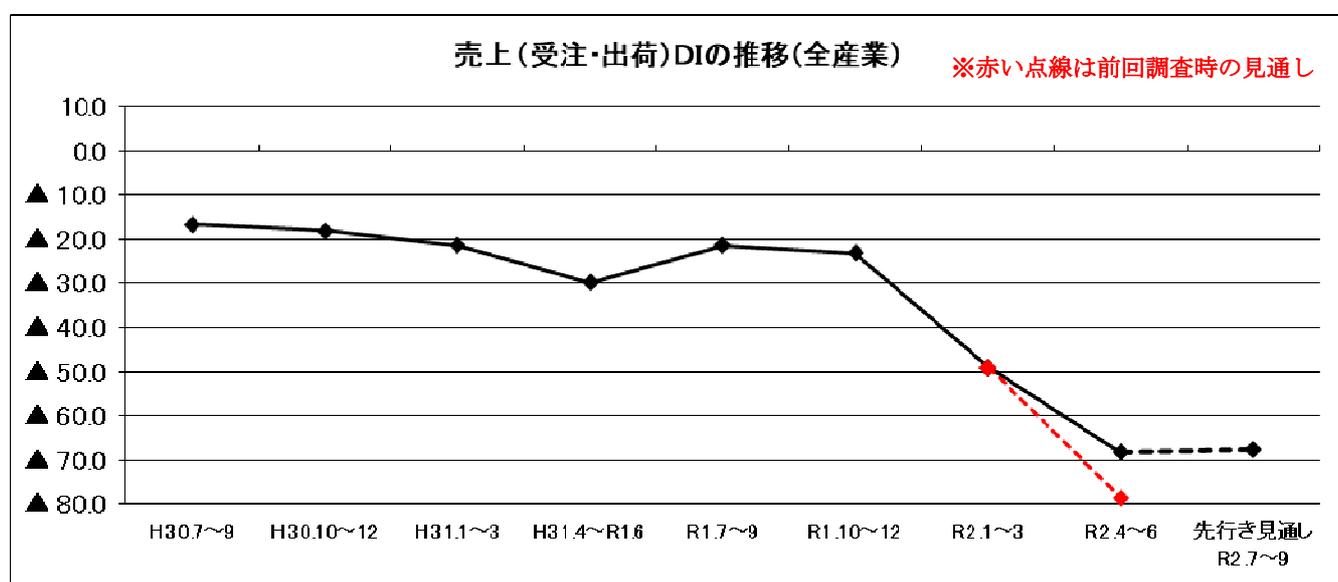
【売上（受注・出荷）の状況についての判断】

○全産業合計の売上DIは▲68.3と、前回調査(▲49.0)から19.3ポイントの悪化。業種別でも全業種で悪化、小売業▲80.9、卸売業▲79.3、製造業▲69.1、サービス業▲79.5と大幅悪化となった。

向こう3ヵ月（7月～9月）の先行き見通しについては、全体で▲67.7ポイントとマイナスながら前回見通しを若干上回り、業種別でも全業種が前回見通しを上回った。

○売上（受注・出荷）DI（前年同期比）の推移 【全産業】

H30.7～9	H30.10～12	H31.1～3	H31.4～R1.6	R1.7～9	R1.10～12	R2.1～3	R2.4～6	先行き見通し R2.7～9
▲16.7	▲18.1	▲21.4	▲29.8	▲21.4	▲23.2	▲49.0	▲68.3	▲67.7



○売上（受注・出荷）DI（業種別）

実績	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	👇 ▲80.9	👇 ▲79.3	👇 ▲69.1	👇 ▲36.4	👇 ▲79.5
前回	▲64.6	▲69.0	▲44.2	▲14.8	▲60.3

見通し	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	👉 ▲67.4	👉 ▲79.3	👉 ▲70.4	👉 ▲48.0	👉 ▲75.0
前回	▲89.4	▲86.2	▲80.0	▲65.4	▲76.5

【採算の状況についての判断】

○全産業合計の採算D Iは▲62.1と、前回調査(▲41.7)から20.4ポイントの悪化。業種別に見ると全業種で▲50ポイントを下回る悪化となり、特に製造業は前回比▲26.0の大幅悪化となった。

向こう3ヵ月(7月~9月)の先行き見通しは、▲63.6と前回調査(▲73.7)を若干上回る見通しとなった。

○採算D I (業種別)

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	👉 ▲ 62.1	👉 ▲ 70.2	👉 ▲ 69.0	👇 ▲ 72.2	👉 ▲ 30.9	👉 ▲ 70.4
前回	▲ 41.7	▲ 58.3	▲ 58.6	▲ 46.2	▲ 7.3	▲ 47.1

見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	👉 ▲ 63.6	👉 ▲ 65.2	👉 ▲ 75.9	👉 ▲ 73.6	👉 ▲ 40.0	👉 ▲ 66.7
前回	▲ 73.7	▲ 87.2	▲ 79.3	▲ 78.4	▲ 64.2	▲ 65.7

※D I = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

【資金繰りの状況についての判断】

○全産業合計の資金繰りD Iは▲33.9と、前回調査(▲31.7)から2.2ポイントの悪化。業種別に見ると小売・製造・サービス業で数値が悪化、卸売・建設業で数値が改善した。

向こう3ヵ月(7月~9月)の先行き見通しは、▲37.6と前回調査(▲55.5)より改善する見通しとなり、業種別でも全業種改善の見通しを示している。

○資金繰りD I (業種別)

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	👉 ▲ 33.9	👉 ▲ 44.7	👉 ▲ 37.9	👉 ▲ 35.2	👉 ▲ 10.9	👉 ▲ 41.7
前回	▲ 31.7	▲ 41.7	▲ 41.4	▲ 33.3	▲ 12.7	▲ 34.8

見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	👉 ▲ 37.6	👉 ▲ 43.5	👉 ▲ 37.9	👉 ▲ 41.5	👉 ▲ 17.6	👉 ▲ 45.1
前回	▲ 55.5	▲ 59.6	▲ 62.1	▲ 56.0	▲ 43.4	▲ 58.8

※D I = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

【仕入単価の状況についての判断】

○全産業合計の仕入単価DIは▲13.9と、前回(▲18.7)から4.8ポイントの改善を示した。業種別に見ると小売・卸売・製造業で数値が改善、建設・サービス業で数値が悪化した。

向こう3ヵ月(7月~9月)の先行き見通しは、▲17.6と前回(▲23.0)より改善する見通しとなった。

○仕入単価DI (業種別)

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ ▲13.9	↔ ▲6.4	↔ ▲25.0	↔ ▲5.5	➡ ▲24.5	➡ ▲13.0
前回	▲18.7	▲18.8	▲34.5	▲15.4	▲23.6	▲9.7

見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↔ ▲17.6	↔ ▲13.0	➡ ▲35.7	↔ ▲5.6	➡ ▲30.6	➡ ▲13.2
前回	▲23.0	▲19.1	▲34.5	▲29.4	▲27.5	▲11.5

※DI = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

【従業員の状況についての判断】

○全産業合計の従業員DIは7.1と、前回(11.8)から4.7ポイント人手不足感が緩和した。業種別では小売・製造・サービス業で人手不足感が緩和、卸売業で横ばい、建設業で不足感を示している。特に製造業は▲12.7ポイント(前回3.8)と従業員過剰の割合が増加している。

向こう3ヵ月(7月~9月)の先行き見通しは、10.4と前回(1.7)より人手不足感が悪化する見通しとなった。業種別では小売・卸売・建設・サービス業で人手不足感が強まり、製造業で若干の過剰感を示す見通しとなった。

○従業員DI (業種別)

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ 7.1	➡ 17.8	➡ 6.9	⬇ ▲12.7	↔ 25.5	⬇ 1.4
前回	11.8	21.4	6.9	3.8	16.4	10.4

見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↔ 10.4	↔ 17.8	➡ 6.9	➡ ▲11.3	↔ 33.3	↔ 6.9
前回	1.7	9.5	3.4	▲15.7	11.3	1.5

※DI = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)

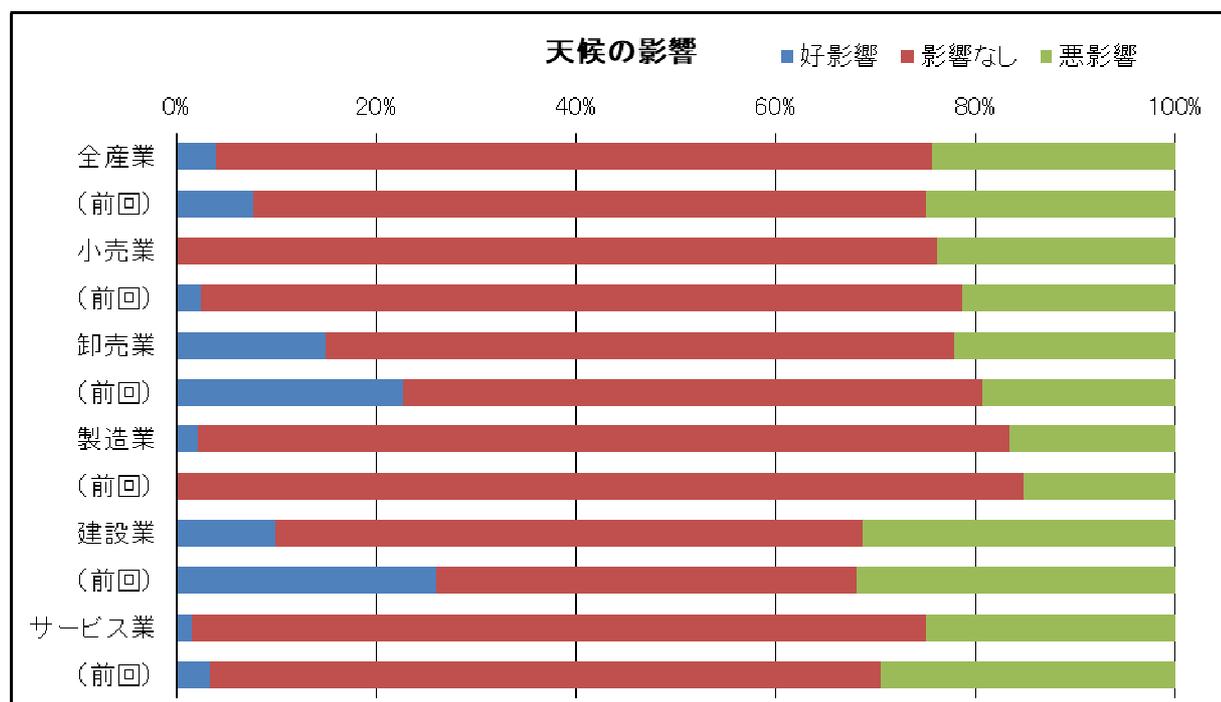
《経営環境》

【天候の影響】

○天候の影響は、全産業で好影響が3.8%、影響なしが71.8%、悪影響が24.4%の回答となった。業種別では卸売業が14.8%、建設業が9.8%好影響と答え、建設業が31.4%、サービス業が25.0%悪影響と答えた。前回比で見ると、卸売・建設業で好影響の割合が減少した。

○天候の影響（業種別影響割合）

	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
好影響	3.8%	0.0%	14.8%	2.1%	9.8%	1.5%
影響なし	71.8%	76.2%	63.0%	81.3%	58.8%	73.5%
悪影響	24.4%	23.8%	22.2%	16.7%	31.4%	25.0%

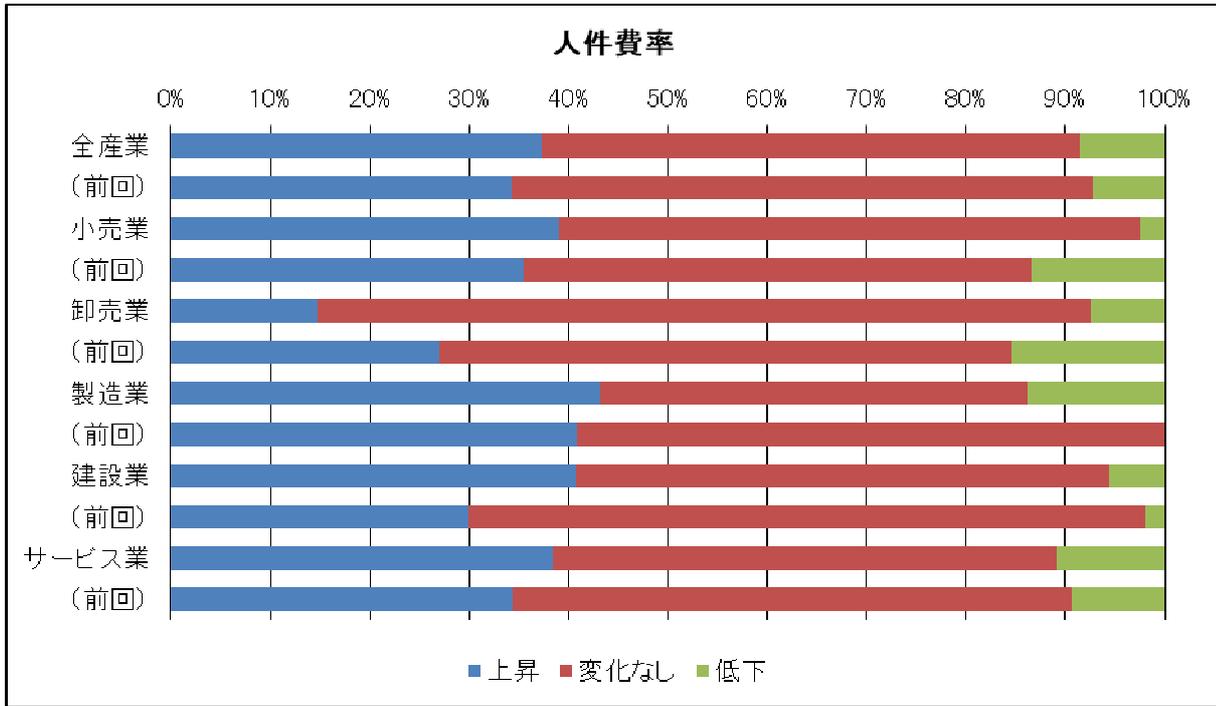


【人件費率】

○人件費率は、全産業で上昇が37.4%、変化なしが54.1%、低下が8.5%という回答となった。業種別に見ると製造業で43.1%、建設業で40.7%が人件費上昇と回答。前回比で見ると、建設業で上昇の割合が増加し、卸売業で増加の割合が減少した。

○人件費率（業種別人件費率割合）

	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
上昇	37.4%	39.0%	14.8%	43.1%	40.7%	38.4%
変化なし	54.1%	58.5%	77.8%	43.1%	53.7%	50.7%
低下	8.5%	2.4%	7.4%	13.7%	5.6%	11.0%

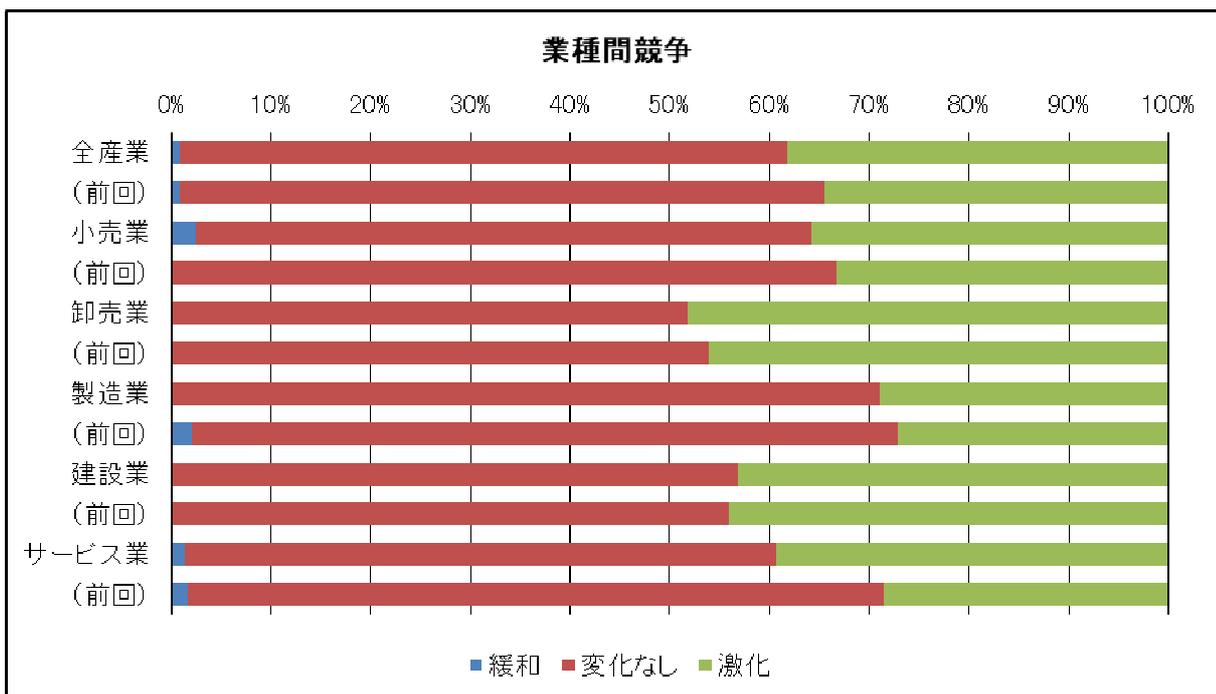


【業種間競争】

○業種間競争は、全産業で緩和が0.8%、変化なしが60.9%、激化が38.3%という回答となった。業種別では緩和の回答が小売・サービス業のみだった。また全業種変化なしの回答割合が前回同様多くなっている。前回比で見ると、サービス業で激化の割合が大幅増加した。

○業種間競争（業種別競争状況割合）

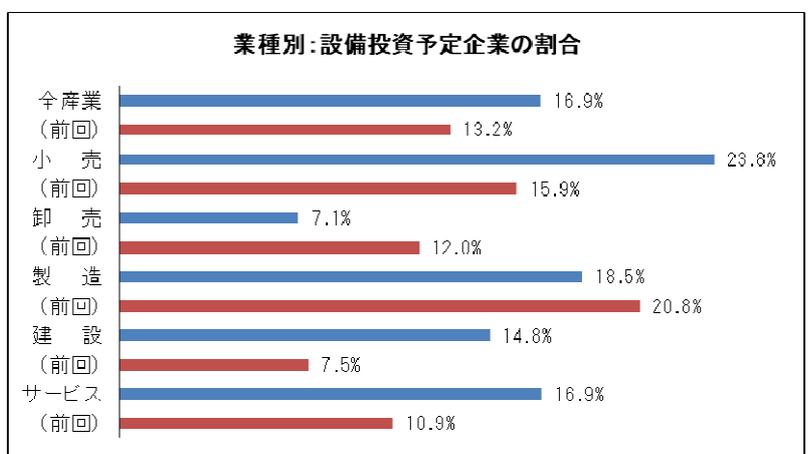
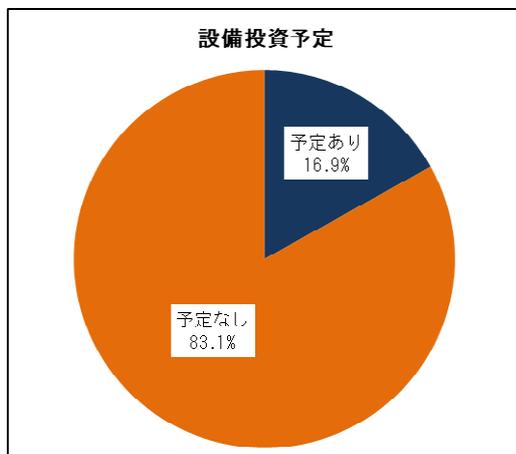
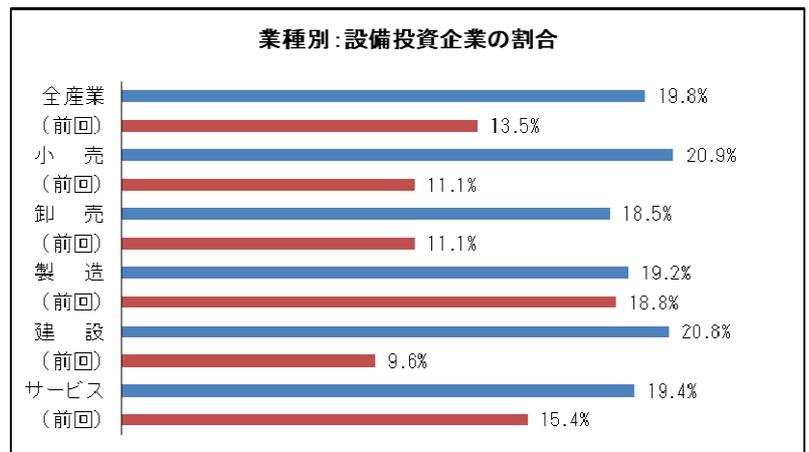
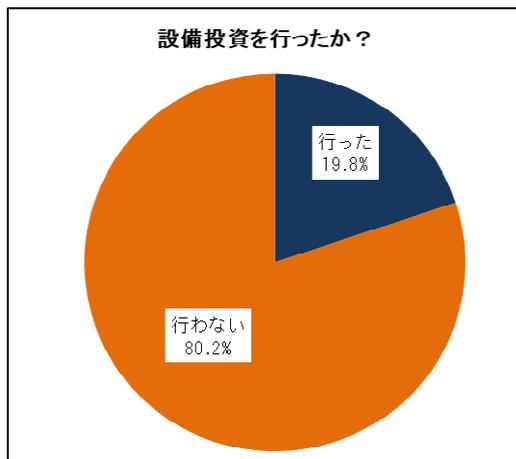
	全産業	小 売	卸 売	製 造	建 設	サービ
緩 和	0.8%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%
変 化 な し	60.9%	61.9%	51.9%	71.2%	56.9%	59.2%
激 化	38.3%	35.7%	48.1%	28.8%	43.1%	39.4%



【設備投資】

○設備投資は全産業で19.8%の事業所で「行った」と回答があり、前回(13.5%)より増加した。業種別では小売業で20.9%、建設業で20.8%、製造業で19.2%が「行った」と回答、前回比で見ると全ての業種で「行った」の回答が増加した。

今後設備投資の予定があると答えた事業所は16.9%となり前回調査(13.2%)より増加した。業種別では小売業で23.8%、製造業で18.5%、サービス業で16.9%が「行なう予定」と回答した。前回比で見ると小売・建設・サービス業で「行う予定」の回答が増加、卸売・製造業で「行う予定」の回答が減少した。



「臨時調査」

【新型コロナウイルス感染症に伴う影響と支援策について】

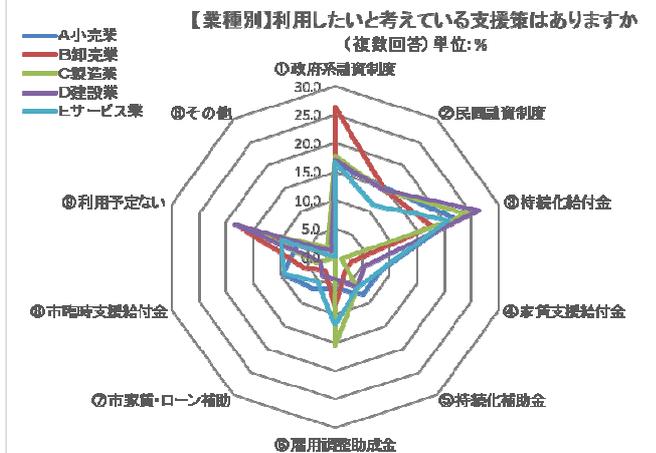
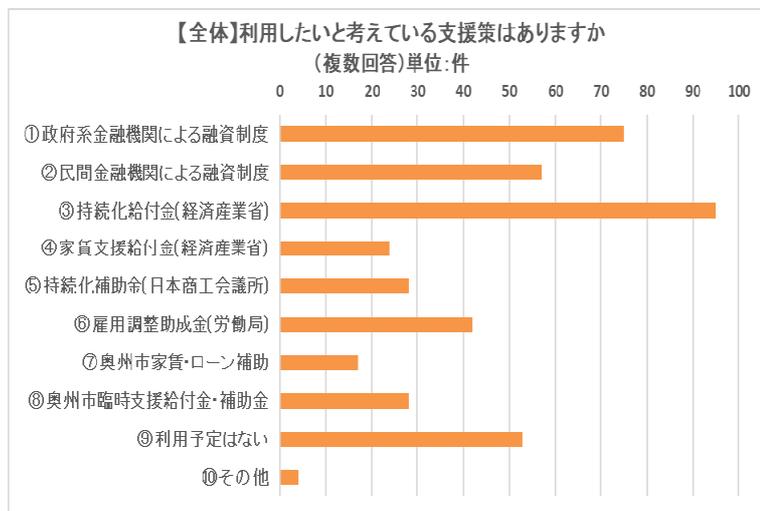
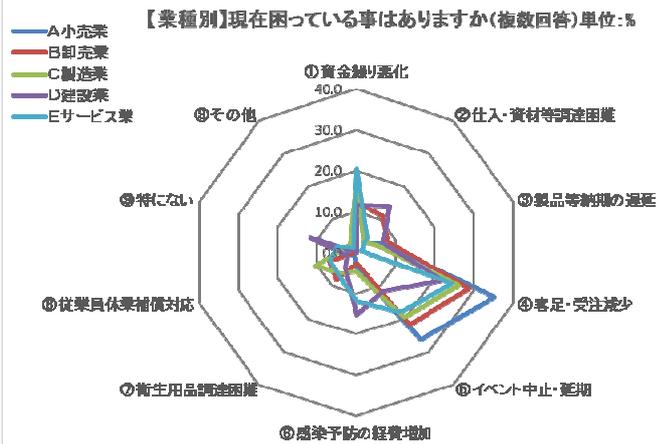
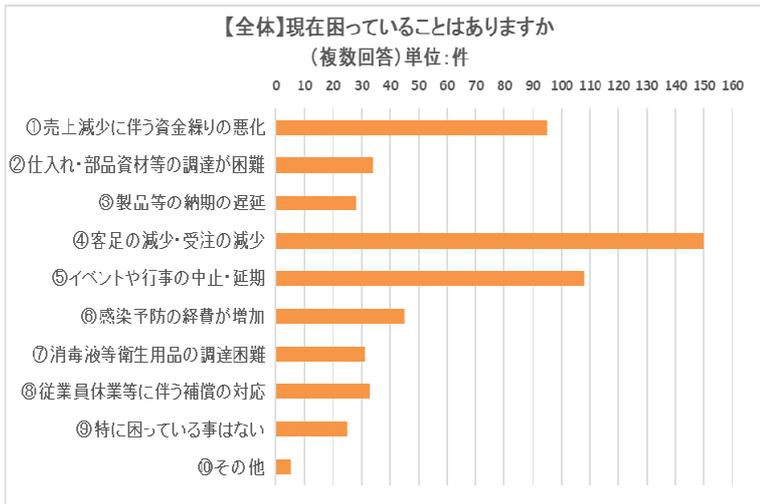
新型コロナウイルスの感染症に伴う様々な影響と、利用したいと思う支援策について調査を行った。感染拡大の影響で現在困っている事について複数回答で調査を行ったところ、「客足・受注の減少」と回答した件数が一番多く、次いで「イベントや行事の中止・延期」「売上減少による資金繰りの悪化」という結果となった。

業種別でもこの傾向は変わらず、客足・受注の減少や行事中止による売上減少が企業経営に大きく

響いていることが伺える。また、製造業では「従業員休業に伴う補償の対応」、建設業では「感染予防の経費増加」、サービス業では「感染予防の経費増加」「消毒液等衛生用品の調達困難」という回答が多く寄せられていた。

今後利用したいと考えている支援策について、こちらも複数回答で調査を行ったところ、「持続化給付金（経済産業省）」「政府系金融機関による融資制度」「民間金融機関による融資制度」を希望する回答が上位を占めた。他に「雇用調整助成金（労働局）」「奥州市臨時支援給付金・補助金」の利用希望も多く回答が寄せられた。一方で「利用予定は無い」という回答も多く見られた。

新型コロナウイルスの感染拡大が経済に影響を及ぼして4～5カ月。殆ど先が見えないのが現状となっており、一層の企業への支援策が必要不可欠になっている。自由意見では「影響は長期化を予測している」「更なる景気後退」という回答がある一方で「コロナを気にしながらも県外への営業活動」「WEB会議・営業にSNSを積極的に活用していく」という回答もあり、感染防止対策を行いながら営業活動を積極的に実施していこうという企業の姿勢が伺える。



自由意見

(小売業)

- ・助成金、融資等を3月に利用した。他市でも行っている「飲食宿泊利用割引」をやってほしい
- ・コロナの影響が当面続きそうである。
- ・4月の売上げが前年比70%減だったので「持続化給付金」の支援を受けた。金融公庫の借換も実行。7月の創業祭は中止した。
- ・家賃支援の確実な実施をお願いしたい。
- ・注文が少ないので配達もあまり無い。
- ・商品券の新規発行及び一関の様な商品券(5000円)の全戸配布をして欲しい。
- ・7月の長雨から冷夏になると、更に景気後退の恐れあり。

(卸売業)

- ・新型コロナ対策を推進中。
- ・コロナ後間違いなく襲ってくるであろう世界的な同時不況を非常に危惧している。国もコロナ対策でバラまいたお金を「消費増税」という形で回収する可能性があるかもしれない。
- ・新型コロナの影響の長期化を予想している。

(製造業)

- ・観光地土産品の売上減少の反面、家庭用の乾麺や小麦粉の受注が多くなっている。
- ・大手取引先が神奈川県にあり、現在社員の方で感染者はいないものの、もし感染者が出た場合一時工場閉鎖となり、その場合更なる受注量の減少が予想され心配である。
- ・今後の動向により来年度の受注に大きな影響があると思われる。
- ・受注減に伴い休業日を設けているが、状況が長引くことで離職者が出ないか心配である。
- ・コロナを気にしながらも県外への営業活動を開始。WEB会議も引き続き行っている。

(建設業)

- ・今は大きな影響は無いが、感染者が発生した場合は即影響が出る。
- ・市場の萎縮、仕事先が少ない。社員を早退させたり振替休日にしている。会社全体が心のコロナウイルス感染に陥るようではダメであり、とにかく受注しようと努力している。SNSを使った営業活動を積極的に進めていきたい。
- ・年末以降、来春に向けての受注見通しが激減しそうだ。
- ・市内業者活性化のため、公共工事を増やしてほしい。
- ・市工事発注が少ないので、本年も奥州市との勉強会をやってほしい。
- ・今年度中かもしれないが人手が足りない。

(サービス業)

- ・ものづくりIT導入補助金とかありますが、分かりづらく、もらえるのは申請の24%位と聞いて諦めました。もっと簡単に、早く補助してくれる仕組みにしてほしい。
- ・持続化給付金は入金されました。イベント中止が続いているのが痛い。
- ・政府の「GO・TOキャンペーン」の詳細内容と実施時期を早くつかみ、キャンペーンの告知を始めたい。
- ・宴会の客が激減した。宴会の自粛ムードがあり、宣伝にためらいがある。
- ・6月に解除になってからは、いくらかの予約は頂きましたが、今月は少ない。広告のおかげで出前はいくらか頂いていますが全体的に少ない。